令和7年度 訪問看護総合支援センター事業 看護学生向け研修実施要項

1 目的

少子高齢化が進行する時代に、地域での療養支援の要となる訪問看護従事者の人材確保が喫緊の課題となっており、看護学生が訪問看護への興味と関心をもつための研修機会とする。

2 実施主体

公益社団法人京都府看護協会

3 共催

社団法人京都府訪問看護ステーション協議会

4 対象者

京都府内の看護師等養成機関に在籍する学生 40名

5 内容

事業名	訪問看護入門研修	訪問看護一日体験研修
目標	訪問看護の役割と魅力について学び、訪問看護への興味関心が高まる。	訪問看護の一日体験を通して、訪問看護の対象と訪問看護師の役割が理解できる。
開催日時	令和7年8月6日(水) 13:30~16:00	令和7年7月22日(火)~9月26日(金)のうち1日(実習先の訪問看護ステーションが指定する日時)
会場	オンライン	指定された訪問看護ステーション
内容	1) 講義「訪問看護の役割と魅力」 佛敎大学保健医療学部看護学科 准教授 清水 奈穂美 2) 事例紹介 「忘れられない看護エピソード」 事例1 「終末期の療養者との関わり」 訪問看護ステーション右京医師会 藤澤 泉利所長 事例2 「ALSで独居にもかかわらず、在宅看取りができた事例」 訪問看護ステーションひなた 團野 一美所長 3) 全体交流会	訪問看護師に同行し在宅療養者の自宅を訪問することにより、在宅療養者の生活を知るとともに、訪問看護の実際を見学する。 また、地域の関係機関との連携について、事例を通して学ぶ。

6 受講料

無料

7 問い合わせ先

公益社団法人京都府看護協会

訪問看護総合支援センター

相談員：茶谷 妙子

電話：075-723-7197 FAX：075-723-7272

E-mail：kyoto-kyokango@kyokango.or.jp